

令和5年度

履 修 要 項

看 護 学 研 究 科

名古屋市立大学大学院

目 次

	教育理念・教育目標	1
	カリキュラムポリシー	2
	カリキュラムマップ・カリキュラムツリー	4
I	令和5年度 看護学研究科 学事日程	8
II	履修要領	11
III	博士前期課程	14
	1. 博士前期課程の履修	16
	2. 博士前期課程 授業科目・単位数・開講時期および担当教員	18
	3. 看護学領域 専門看護師教育コースの履修方法	24
	4. 看護学領域 上級実践コースの履修方法	27
	5. 助産学領域 助産学分野の履修方法	28
	6. 各領域・コースの修了に必要な単位数一覧	30
	7. 大学院医学研究科との単位互換科目について	31
	8. コミュニティ・ヘルスケア指導者養成コースの履修方法	31
	9. 修士(看護学)取得までの流れ	33
	10. 大学院看護学研究科博士前期課程におけるコース変更に関する内規	34
IV	博士後期課程	42
	1. 博士後期課程の履修	44
	2. 博士後期課程 授業科目・単位数・開講時期および担当教員	49
	3. 博士(看護学)取得までの流れ	48
	4. 研究科横断型プログラム「コミュニティ・ヘルスケア指導者養成コース」 について	50
	博士前期課程及び博士後期課程共通	
V	大学院授業科目担当教員一覧	62
VI	名古屋市立大学大学院看護学研究科履修規程	69
VII	名古屋市立大学大学院看護学研究科における長期にわたる 教育課程の履修の取扱要綱	80
VIII	定期試験及び定期試験に代わるレポート課題における 不正行為に対する懲戒等及び措置に関する指針	83
IX	看護学研究科成績疑問票取扱要綱	85
X	大学院看護学研究科における修士の学位に関する内規	87
XI	大学院看護学研究科における課程博士の学位に関する内規	90
XII	看護学研究科学位論文の評価について	94
XIII	研究倫理審査について	95
XIV	暴風警報発令時等の緊急時における授業・試験の対応について	97
XV	桜山(川澄)キャンパス建物及び葵キャンパス配置図	99
XVI	看護学部棟・葵キャンパス各階配置図	100
XVII	旧病院西棟2階配置図	102

教育理念

人間の尊厳を理解し、看護を通じて保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成する。

教育目標

1. 前期課程では、臨地における問題や課題に積極的に取り組む研究・実践能力を養う。
2. 後期課程では、健康生活支援や新たなケアシステムに関する研究を通じて看護学の学問的構築を推進できる優れた教育・研究者を育成する。

博士前期看護学専攻 カリキュラム・ポリシー

○課程編成

看護学研究科博士前期課程のコースワークにおいては、看護学領域、助産学領域の実践現場における問題や課題に積極的に取り組む研究・実践能力を養う各特論とともに、視野を広げ、精深な学識を付与するために専攻支持科目群を配置します。ここでは、看護学一般の知識の深化を促す科目、隣接諸科学の理論や技術に関わる科目、そして高い職業倫理観に関わる科目が含まれます。

【修士論文コース(看護学領域・助産学領域)】では、教育研究分野において、優れた看護学・助産学の専門職者、教育者、研究者を養成するため、多様な人々の健康と福祉の実態を踏まえ、看護学・助産学の理論と実践を追求し、社会のニーズに積極的に応えられる能力の修得をはかるための科目群を配置します。

【専門看護師教育コース】では、複雑で解決困難な看護問題をもつ個人・家族・集団に対して水準の高い看護ケアを提供し、高度な医療の進展に対応できる専門看護師を養成するため、特定の専門看護分野の知識・技術を深める科目群を配置します。

【看護学上級実践コース】では、麻酔に関わる包括的ケアの実践能力を有し、看護師として麻酔科医と協働して患者の麻酔管理を行う周麻酔期看護師に必要な知識・技術を修得するための科目群を配置します。

【助産学上級実践コース】では、助産師の有資格者に対し、助産学領域における専門性と卓越した能力を修得させるための科目群を配置します。また、看護学の教育課程を修了した者に対し、助産師の資格取得に要する助産の基礎となる科目群を配置します。

リサーチワークにおいては、専門的な研究能力の修得に必要な教育研究分野科目群を配置します。ここでは、専攻する教育研究分野の演習、特別研究(修士論文コース)/課題研究(専門看護師教育コース、看護学上級実践コース、助産学上級実践コース)が含まれます。

○実践

その実践においては、講義・演習では、学生によるプレゼンテーション、グループ討論、事例検討、ロールプレイ、モデルを用いたスキルトレーニングなどのアクティブ・ラーニングを取り入れて、看護学・助産学領域における問題への探求能力や課題解決への能動的姿勢を育みます。

また、専門看護師教育コースにおいては患者、家族または専門職を対象に質の高い実習を行うことで、高度な看護実践能力を養います。助産学上級実践コース・アドバンスコースでは、自己の助産実践にかかる課題に沿った質の高い実習を行なうことで、高度な助産実践能力を養います。看護学上級実践コースの周麻酔期看護師教育コースでは、麻酔科医の指導のもとで実習を行い、多職種との協働による麻酔管理能力を養います。助産学上級実践コース・助産師国家試験受験資格取得コースでは、母子とその家族を対象とした実習を行うことで、基礎的な助産実践能力を養います。

さらに修士論文・課題研究では、年度毎に作成する研究指導計画書に基づいた個人指導や各ゼミでのリサーチミーティングを通して研究遂行能力を養います。

○学修成果の評価方法

「教育研究分野科目」(各分野の特別研究・課題研究を除く)と「専攻支持科目群」の学修成果は、科目における課題、筆記試験・実技試験、実習レポート等をもとに評価します。各分野の「特別研究」および「課題研究」は、教授会で選出された3名の審査委員からなる審査委員会によって、規定に沿って提出された学位論文の審査および口頭試験を行います。「学位論文評価基準」に基づいて判定し、教授会で学位授与を決定します大学院看護学研究科博士前期課程では、臨地における問題や課題に積極的に取り組む研究・実践能力を養うという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、修士(看護学)の学位を授与します。

- ・人間の尊厳を理解し、広い視野に立ち、精深な学識を有している。
- ・高度な職業倫理を有し、看護学・助産学の発展と探究に寄与し、保健・医療・福祉に貢献できる能力を有している。
- ・修士論文コース(看護学領域および助産学領域)を修了する学生は、専攻する教育研究分野における問題や課題に積極的に取り組む研究・実践能力を有している。
- ・専門看護師教育コースを修了する学生は、特定分野における実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究に卓越した能力を有している。
- ・周麻酔期看護師教育コースを修了する学生は、麻酔に関わる包括的ケアの実践能力と研究能力を有している。
- ・助産学上級実践コース・アドバンスコースを修了する学生は、助産師として高度な助産実践能力と研究能力を有している。
- ・助産師国家試験受験資格取得コースを修了する学生は、助産師としての基礎的な助産実践能力と研究能力を有している。
- ・修士論文あるいは課題研究成果物は、研究目的(問題設定)、研究方法、実施、分析、考察の適切性、学術的発展性、倫理的配慮などの点で、修士の学位に相応する内容であり、学生はその研究能力を有している。

博士後期看護学専攻 カリキュラム・ポリシー

○課程編成

看護学研究科博士後期課程のコースワークにおいては、健康支援看護学分野とケアシステム看護学分野の学問的構築を推進し、国際社会など多様な場で活躍できる優れた教育・研究者を育成することを目的として、専門別特講の科目群を配置します。また、多面的な専門知識と技術を修得し、看護学領域における高度な学問的能力と研究実践能力を養うために支持科目群を配置します。

リサーチワークにおいては、医療の高度化に対応する先進的研究および、地域の保健医療福祉分野のニーズに対応する研究を遂行できることを目的として特講演習および特別研究の科目群を配置し、各分野における調査・研究活動や論文執筆を行います。

○実践

その実践においては、年度毎に作成する研究指導計画書に基づく個別指導によって特別研究を進める中で、研究計画と実施、博士論文予備審査、関係ある学術雑誌への論文発表、博士論文審査および最終試験などを経て、高度な看護学の学問的構築と研究能力を育みます。

○学修成果の評価方法

「教育研究分野科目」(特別研究を除く)と「支持科目」の学修成果は、科目における課題をもとに評価します。「特別研究」は、教授会で選出された4名の審査委員からなる審査委員会によって、規定に沿って提出された学位論文の審査および口頭試験を行います。「学位論文評価基準」に基づいて判定し、教授会で学位授与を決定します。

看護学研究科博士前期課程 カリキュラムマップ

看護学研究科博士前期課程 (看護学専攻)

ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)

大学院看護学研究科博士前期課程では、臨地における問題や課題に積極的に取り組む研究・実践能力を養うという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、修士 (看護学) の学位を授与します。

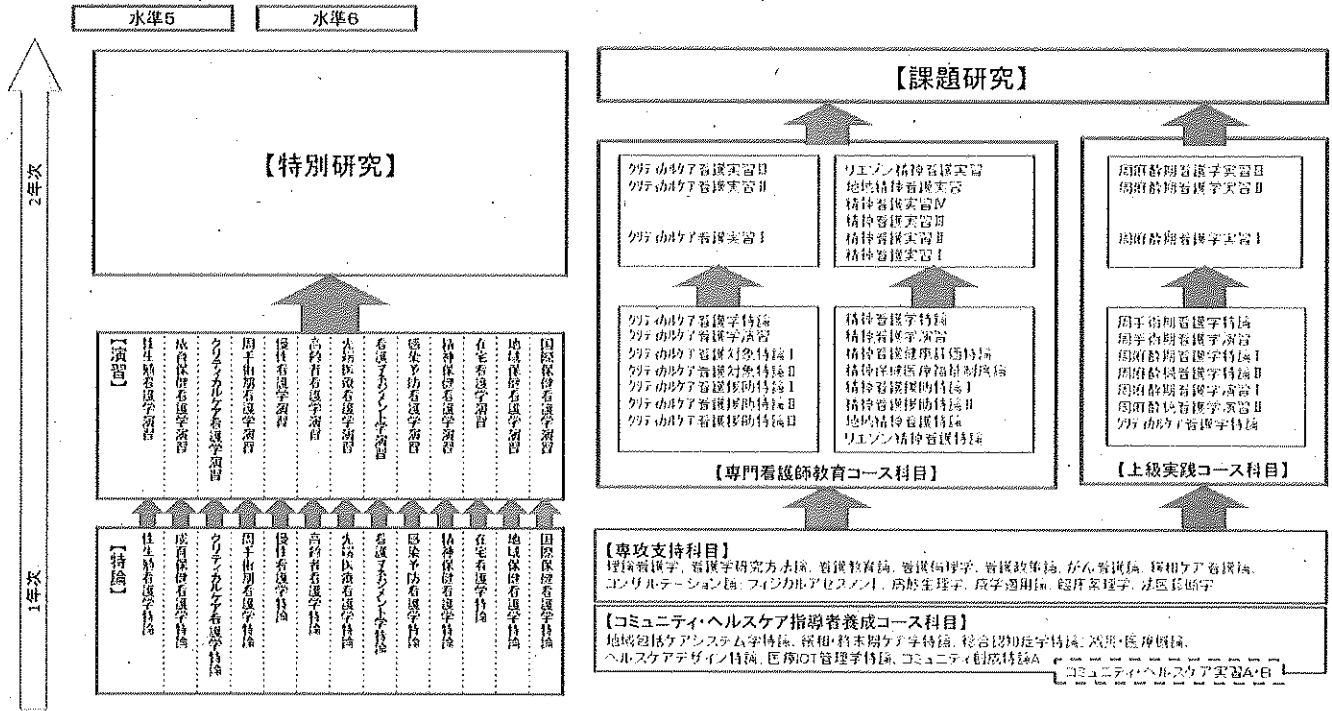
- (a) 人間の尊厳を理解し、広い視野に立ち、精深な学識を有している。
- (b) 高度な職業倫理を有し、看護学・助産学の発展と探究に寄与し、保健・医療・福祉に貢献でき能力を有している。
- (c) 修士論文コース (看護学領域および助産学領域) を修了する学生は、専攻する教育研究分野における問題や課題に積極的に取り組む研究・実践能力を有している。
- (d) 専門看護師教育コースを修了する学生は、特定分野における実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究に卓越した能力を有している。
- (e) 周麻酔期看護師教育コースを修了する学生は、麻酔に関わる包括的ケアの実践能力と研究能力を有している。
- (f) 助産学上級実践コース・アドバンスコースを修了する学生は、助産師として高度な助産実践能力と研究能力を有している。
- (g) 助産師国家試験受験資格取得コースを修了する学生は、助産師としての基礎的な助産実践能力と研究能力を有している。
- (h) 修士論文あるいは課題研究成果物は、研究目的 (問題設定)、研究方法、実施、分析、考察の適切性、学術的発展性、倫理的配慮などの点で、修士の学位に相応する内容であり、学生はその研究能力を有している。

分類	科目コード	科目名	学修成果 1	学修成果 2	学修成果 3	学修成果 4	学修成果 5	学修成果 6	学修成果 7	学修成果 8
			学識	職務能力	研究姿勢	高度看護実践力	麻酔看護実践力	高度助産実践力	基礎助産実践力	研究能力
	NMSE0019	性生殖看護学特論	○	○						
	NMSE0017	性生殖看護学演習			○					
	NMSE0018	性生殖看護学特別研究			○					○
	NMSE0022	成育保健看護学特論	○	○						
	NMSE0020	成育保健看護学演習			○					
	NMSE0021	成育保健看護学特別研究			○					○
	NMKU0006	クリティカルケア看護学特論	○	○		○				
	NMKU0003	クリティカルケア看護学演習	○			○				○
	NMKU0011	クリティカルケア看護対象特論 I		○		○				
	NMKU0012	クリティカルケア看護対象特論 II		○		○				
	NMKU0001	クリティカルケア看護援助特論 I		○		○				
	NMKU0002	クリティカルケア看護援助特論 II		○		○				
	NMKU0013	クリティカルケア看護援助特論 III		○		○				
	NMKU0014	クリティカルケア看護実習 I		○		○				
	NMKU0015	クリティカルケア看護実習 II		○		○				
	NMKU0016	クリティカルケア看護実習 III		○		○				
	NMKU0004	クリティカルケア看護学課題研究			○					○
	NMKU0005	クリティカルケア看護学特別研究			○					○
	NMS10001	周手術期看護学特論	○	○			○			
	NMS10002	周手術期看護学演習	○	○			○			
	NMS10003	周麻酔期看護学特論 I		○			○			
	NMS10004	周麻酔期看護学特論 II		○			○			
	NMS10005	周麻酔期看護学演習 I		○			○			
	NMS10006	周麻酔期看護学演習 II		○			○			
	NMS10007	周麻酔期看護学実習 I		○			○			
	NMS10008	周麻酔期看護学実習 II		○			○			
	NMS10009	周麻酔期看護学実習 III		○			○			
	NMS10010	周手術期看護学課題研究			○					○
	NMS10011	周手術期看護学特別研究			○					○
	NMA0003	慢性看護学特論	○	○						
	NMA0001	慢性看護学演習			○					
	NMA0002	慢性看護学特別研究			○					○
	NMKO0004	高齢者看護学特論	○	○						
	NMKO0002	高齢者看護学演習			○					
	NMKO0003	高齢者看護学特別研究			○					○
	NMSE0039	先端医療看護学特論	○	○						
	NMSE0040	先端医療看護学演習			○					
	NMSE0041	先端医療看護学特別研究			○					
	NMKA0021	看護マネジメント学特論	○	○						
	NMKA0019	看護マネジメント学演習			○					
	NMKA0020	看護マネジメント学特別研究			○					○
	NMKA0018	感染予防看護学特論	○	○						
	NMKA0016	感染予防看護学演習			○					
	NMKA0017	感染予防看護学特別研究			○					○
	NMSE0030	精神看護学特論	○	○		○				
	NMSE0027	精神看護学演習		○		○				
	NMSE0036	精神看護健康評価特論		○		○				
	NMSE0034	精神保健医療福祉制度論		○		○				
	NMSE0037	精神看護援助特論 I		○		○				
	NMSE0038	精神看護援助特論 II		○		○				
	NMT10013	地域精神看護特論		○		○				
	NMR10010	リエゾン精神看護特論		○		○				
	NMSE0031	精神看護実習 I		○		○				
	NMSE0032	精神看護実習 II		○		○				
	NMSE0033	精神看護実習 III		○		○				
	NMSE0035	精神看護実習 IV		○		○				
	NMT10014	地域精神看護実習		○		○				

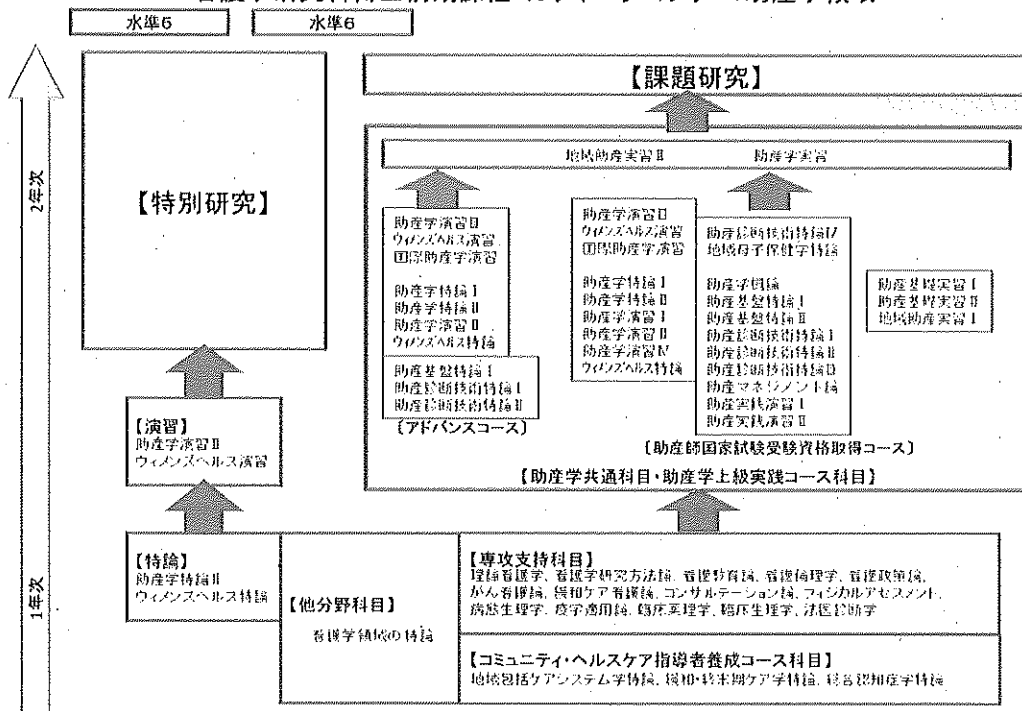
教育研究分野科目

分類	科目コード	科目名	学修成果1	学修成果2	学修成果3	学修成果4	学修成果5	学修成果6	学修成果7	学修成果8
			学識	職務能力	研究姿勢	高度看護実践力	麻酔看護実践力	高度助産実践力	基礎助産実践力	研究能力
	NMR10015	リエゾン精神看護実習		○		○				
	NMSE0028	精神看護学課題研究			○					○
	NMSE0029	精神看護学特別研究			○					○
	NMZA0004	在宅看護学特論	○	○						
	NMZA0005	在宅看護学演習			○					
	NMZA0006	在宅看護学特別研究			○					○
	NMT10012	地域保健看護学特論	○	○						
	NMT10010	地域保健看護学演習			○					
	NMT10011	地域保健看護学特別研究			○					○
	NMK00008	国際保健看護学特論	○	○						
	NMK00006	国際保健看護学演習			○					
NMK00007	国際保健看護学特別研究			○					○	
専攻支持科目群	NMR10012	理論看護学	○	○		○				
	NMKA0022	看護学研究方法論	○	○						○
	NMKA0023	看護教育論	○	○		○				
	NMKA0027	看護倫理学	○	○		○				
	NMKA0024	看護政策論	○	○		○				
	NMGA0001	がん看護論	○	○						
	NMKA0026	緩和ケア看護論	○	○						
	NMK00010	コンサルテーション論	○	○		○				
	NMFI0001	フィジカルアセスメント	○	○		○				
	NMB10003	病態生理学	○	○		○				
	NMBE0001	疫学適用論	○	○						
	NMR10013	臨床薬理学	○	○		○				
	NMR10014	臨床生理学	○	○		○				
	NMH00006	法医学	○	○						
コミュニティ・ヘルスケア 指導養成コース科目	NDTI0003	地域包括ケアシステム学特論	○	○						
	NDKA0003	緩和・終末期ケア学特論	○	○						
	NDS00002	総合認知症学特論	○	○						
	NMGE0001	減災・医療概論	○	○						
	NDHE0001	ヘルスケアデザイン特論	○	○						
	NDI10001	医療ICT管理特論	○	○						
	NDK00002	コミュニティ創成特論A	○	○						
	NDK00006	コミュニティ・ヘルスケア実習A	○	○						
NDK00007	コミュニティ・ヘルスケア実習B	○	○		○					
助産学共通科目	NMZ10011	助産学特論Ⅰ					○		○	
	NMZ10012	助産学特論Ⅱ	○	○			○			
	NMZ10003	助産学演習Ⅰ							○	
	NMZ10004	助産学演習Ⅱ			○		○		○	
	NMZ10005	助産学演習Ⅲ					○		○	
	NMZ10006	助産学演習Ⅳ					○		○	
	NMUU0002	ウイメンズヘルス特論					○		○	
NMUU0001	ウイメンズヘルス演習					○		○		
NMK00005	国際助産学演習					○		○		
助産学上級実践コース科目	NMZ10008	助産学概論							○	
	NMZ10015	助産基礎特論Ⅰ							○	
	NMZ10016	助産基礎特論Ⅱ							○	
	NMZ10019	助産診断技術特論Ⅰ							○	
	NMZ10020	助産診断技術特論Ⅱ							○	
	NMZ10021	助産診断技術特論Ⅲ					○		○	
	NMZ10022	助産診断技術特論Ⅳ					○		○	
	NMZ10002	助産マネジメント論							○	
	NMT10015	地域母子保健学特論							○	
	NMZ10017	助産実践演習Ⅰ							○	
	NMZ10018	助産実践演習Ⅱ							○	
	NMZ10013	助産基礎実習Ⅰ							○	
	NMZ10014	助産基礎実習Ⅱ							○	
	NMT10008	地域助産実習Ⅰ							○	
	NMT10009	地域助産実習Ⅱ					○		○	
	NMZ10009	助産学実習					○		○	
	NMZ10007	助産学課題研究			○		○		○	○
	助産学修士論文コース科目	NMZ10010	助産学特別研究			○				

看護学研究科博士前期課程 カリキュラムツリー:看護学領域



看護学研究科博士前期課程 カリキュラムツリー:助産学領域



看護学研究科博士後期課程 カリキュラムマップ

看護学研究科博士後期課程 (看護学専攻)					
ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)					
大学院看護学研究科博士後期課程では、健康生活支援や新たなケアシステムに関する研究を通じて看護学の学問的構築を推進できる優れた教育・研究者を育成するという教育上の目的に鑑み、以下の能力を有すると認められた者に対し、修了を認定し、博士(看護学)の学位を授与します。 (a) 科学の発展や技術の進歩に伴う医療の高度化、社会の構造の変化や国際化などに伴う健康課題の多様化に即した研究・教育を遂行するに必要な広い視野と豊かな学識を有している。 (b) その広い視野と豊かな学識を十分に活用し、自立して、独創的で高度な研究活動を継続する意志と能力を有している。 (c) 博士論文は、研究目的(問題設定)、研究方法、実施、分析、考察の適切性、研究の独創性、学術的発展性と意義、倫理的配慮などの点で、博士の学位に相応する内容であり、その一部は参考論文として学術雑誌に掲載されている。学生はこれらの研究能力を有している。					
分類	科目コード	科目名	学修成果1	学修成果2	学修成果3
			学識	研究姿勢	研究能力
教育研究分野科目	NDSE0002	性生殖看護学・助産学特講	○		
	NDSE0003	成育保健看護学特講	○		
	NDKU0001	クリティカルケア看護学特講	○		
	NDSI0002	周手術期看護学特講	○		
	NDMA0001	慢性看護学特講	○		
	NDKG0004	高齢者看護学特講	○		
	NDSE0006	先端医療看護学特講	○		
	NDKE0002	健康支援看護学特講演習		○	○
	NDKA0005	看護マネジメント学特講	○		
	NDKA0001	感染予防看護学特講	○		
	NDSE0005	精神保健看護学特講	○		
	NDZA0001	在宅看護学特講	○		
	NDTI0002	地域保健看護学特講	○		
	NDK00005	国際保健看護学特講	○		
NDKE0001	ケアシステム看護学特講演習		○	○	
NDTI0001	特別研究			○	○
支持科目	NDSA0001	最新薬物療法論特講	○		
	NDRI0002	臨床生理学特講	○		
	NDSI0001	心理学研究特講	○		
	NDK00003	公衆衛生学特講	○		
	NDRI0001	臨床病態学特講	○		
コミュニティ・ヘルスケア指導者養成コース科目	NDTI0003	地域包括ケアシステム学特論	○		
	NDKA0003	緩和・終末期ケア学特論	○		
	NDS00002	総合認知症学特論	○		
	NDGE0001	減災・医療概論	○		
	NDHE0001	ヘルスケアデザイン特論	○		
	NDII0001	医療ICT管理学	○		
	NDK00002	コミュニティ創成特論A	○		
NDK00006	コミュニティ・ヘルスケア実習A	○			
NDK00007	コミュニティ・ヘルスケア実習B	○			

看護学研究科博士後期課程 カリキュラムツリー

